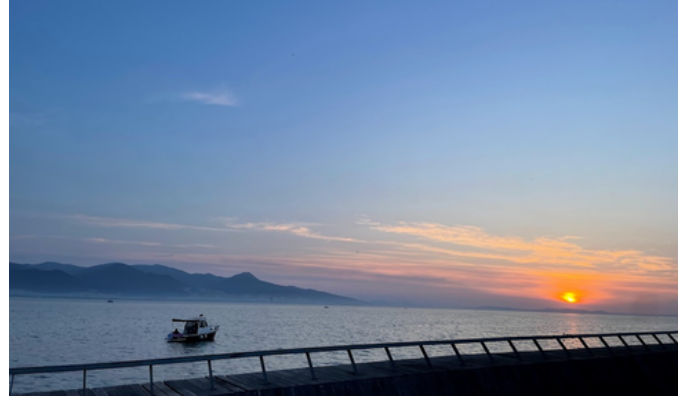


イズミル経済大学月例報告書

文化政策学科 志賀彩月

はじめに

みなさんこんにちは。最近春の陽気を感じていて、長袖シャツ一枚で過ごせるようになってきました。イズミルの冬は日本の冬と比べてとても暖かかったです。2月でも気温20度の日もあり、ここの気温や天気はとても不安定でした。寒いのが苦手なので快適に過ごせてよかったです。今回は冬休みにしたこととイタリア旅行について書きたいと思います。右の写真は私のお気に入りのChilling placeからの眺めです。



Dinner

様々な友人にディナーに招待してもらいました。合氣道と一緒にやっている女の子の家では、いつもと違ったマントゥをいただきました。よく見るのは小さくてもちもちな茹でたマントゥなのですが、頂いたものは中にチキンが入っていてパリパリに焼いてあるものでした。マントゥはトルコに来たら絶対に試してほしいトルコを象徴するヨーグルト料理です。



左が近所の店のマントゥで右が友達の家のマントゥです。どちらもおいしすぎました。

大学の友人の家ではお母さんがトルコ料理をふるまってくれました。スープから始まり、ナスやパプリカに米が詰めてあるおかず、赤豆の煮込み、セロリとナスのヨーグルト和えなどの副菜、そしてメインのチキン料理、そして食後にはトルココーヒーと手作りケーキを頂きました。トルコのお母さんたちはみんな料理が上手で感動します。とても優しくてあたたかい家族でとても幸せな気持ちになりました。



日本に30年以上住んでいたことがあり今はイズミルに住んでいる人に偶然会いました。日本語も英語も堪能で様々な経験を聞いたり話すことができとても良い出会いをしたなど思います。エビチリと青椒肉絲を作りました。彼は日本のカレーが恋しいと言っていました。

Valentines Day



salepというトルコの飲み物

日本のバレンタインは友達同士でチョコを作って渡しあうイメージがあったのですが、ここでは完全に恋人のイベントのようです。街を歩くとカップルがたくさんいて路上の花屋さんもいつもの三倍くらいの花を用意していたりと活気がありました。同じイベントでも認識の違いがあることを知れて勉強になりました。

今月の動物

バブで飲んでいたらいきなり犬が来ておなかを見せてきました。自分からかまってほしいと人に近づいてくる犬や猫がたくさんいるのもトルコの特徴だと思います。ここまで大胆な子は初めて見たので面白かったです。



Italy Trip



2024.1.26~2.3

冬休みの一週間を使ってずっと行きたかったイタリアに行ってきました。
イズミルからの直行便はなかったのでイスタンブールを経由しローマまで5
時間ほどで行けました。一生に残る思い出になりました。

Roma

ローマは古代ローマの時代の遺跡があちこちに残っていて、普通の道を歩いても歴史を感じて感動しました。コロッセオは地下鉄の駅を出ると目の前にあり、その大きさとそれを自分の目で見ているということに驚きました。実際に自分の目で見ることでもっとその国や歴史のことを知ろうと思えます。フォロロマーノからローマを見渡した時に実際に政治が行われている光景を想像できたことがとても嬉しかったです。どの建物も美しく、自分にとって新しいものなので道を歩くだけでも楽しかったです。オリジナルのカルボナーラは絶品でした。



Firenze

今回行った都市の中で一番好きな都市でした。ドゥオーモは言い表せないくらいの迫力で、彫刻がとても繊細で目の前を通るたびに立ち止まってしまいました。街全体が落ち着いた雰囲気、有名なウフィツィ美術館、ヴェッキオ橋などルネサンスを象徴する絵画を見ることができてとても貴重な経験をしました。



Napoli

ナポリで海を見てピザを食べるという目的でナポリに行きました。本場ナポリのピザは薄いけれどももちもちで一人一枚ぺろりと食べてしまいました。イタリアは料理がすべて美味しすぎます。ナポリは他の都市と少し違い治安が心配でしたが、最大限の注意を払っていれば安全に旅行できると思います。宿泊先で一緒になった人と楽しく会話ができたり、一人で無事に帰ってこれたことで自信がついたし、自分の成長も感じました。

